

せ ん ぼ 通信 No.93

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「ピース」

10年以上前に頂いたバラの苗…手入れもわからず植えばなし。昨年初めて1輪の花が咲きました。10cm以上のクリーム色の花で、花びらの先は薄いピンク色、こんなにきれいな花だったのかと…びっくり。今年は7輪…。「開成山公園に行ったら、同じバラがあった、名前は、ピースって書いてあったよ」と孫娘。ピースって…平和のピースってこと…？

気になり調べてみたら…またびっくりです。

「ピースは、世界で一番有名な奇跡のバラ。フランスで交配されたバラの苗…『マダム・アントワヌ・メイアン』と名づけられたが、第2次世界大戦のナチスとの戦争で失った。戦争のさなか、アメリカに帰る将校に渡した苗木は、種苗会社の手元に届いていた。1945年4月29日、全米バラ協会が名前をつけようとしていた時、ベルリン陥落のニュースが入ってきた。戦争の終わりを信じ、戦争のない世界を願って、そのバラは、『ピース』(peace=平和)と命名された。」そんな物語があったバラだったので。伊藤さん…天国から見えてますよね…

守山中学校・佐久間校長先生
二瀬中が統合した2020年4月に着任されました。校長先生のお話、【前例のない緊急事態を乗り越えるために、「チーム守山」で、「全ては子どもたちのために」を、大切に取り組みました。相田みつをさん「本気」という詩から、「本気で楽しく」を使っています。物事を本気で行うと、苦手のことでも、楽しさや喜びを感じるようになる、私は考えています。ピンチの状況は続きますが、できる事を確実に行えば、チャンスは目の前にあります。】と。

二瀬中から転校した2・3年生は、「守山中に行って良かった…」と卒業。先生方に感謝です。「チーム守山」とは、二瀬地区も合わせた生徒・教職員・保護者・地域(小学校も)が一体化したワンチームのこと

谷田川小の5・6年生が宿泊学習で会津へダンスを練習する…と、踊り始まった。その曲は、ロシア民謡のコロプチカ(行商人)。そうか、今でもキャンプファイヤーで踊るのか…。聞いているうちに胸と目がウルウルに。昔、友達と踊った栃山神小学校の校庭…今、谷田川小で楽しく踊っている子供たち…そして、「パパが…」と、テレビに映るウクライナの少年の涙…せめて…子どもたちだけでも安全地帯へ…。戦争…って、動物の縄張り争いにしか思えない。人間は、争いにならないように…そのことに、知恵とお金を使ってほしい。



写真

幸次郎

バラ・ピース咲き初めるころ戦争は100日目とニュースも100日

〒963-1245 郡山市田村町栃山神字千穂128 TEL: 024-975-2415 FAX: 024-975-2466

2022・6・1

遠藤商店

編集: ミサ子 mail:kaikuu-0305@docomo.ne.jp

せ ん ぼ 通信 No.94

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「知床旅情」

歌手・加藤登紀子さんの記事～(要約)

「知床観光船の事故で思い出したのは、1959年80人を超える死者・行方不明者が出た、知床半島での漁船の遭難事故。昔から、『風が吹いたらクナシリに逃げろ』と言われていたのに、当時のソ連に拿捕(だほ)されるのを恐れて、強烈な風で海が荒れる中、羅臼港に帰ろうとして事故に…。この悲劇を受け、森繁さんが、真冬の知床半島の番屋で暮らす老人の映画、『地の涯(はて)に生きるもの』を自主制作。森繁さんが、そのロケの置き土産として、『知床旅情』を作詞作曲しました。

私のステージを見てくれていた森繁さんが、『僕と同じ心で歌う人を見つけたよ』と、言って下さり、私が『知床旅情』を歌うことになりました。出会い…別れ…人の人生に寄り添いその全ての時間がいとおいしいものだね…と、語りかけるような歌です。

これからは、亡くなった方々への追悼の気持ちと、厳しい知床の自然をずっと愛し続けてきた人々への敬意をこめ、歌い続けようと思います。」と。(森繁さんの歌声も好きでした)

川曲・樫(ゆずりは)園芸さん
南相馬市に、60万本のサツマ芋の苗を、一か月間通って植えつける予定と。毎日通っているの？
「はい、一時間半で行けるので、1日2万本位ずつ運んで植えて…」と。大変な作業のはずなのに、若手社員さんたちは、残業も苦にならないように楽しそうに…。

柏原社長さん…黒糖焼酎をいつもは1本なのに、今日は2本…
どうしたんですか？

「これから南相馬に行きます。作業が遅れていて、泊まり込みでやってきます。なので、その分です…(笑)」ありがとうございます。異常気温でも、サツマ芋の生育に被害がなく、作業が安全でありますように。そして、地域の皆さまも、草刈りなど…絶対…絶対…無理をしないで下さい。

6月中に梅雨明けなんて…初めて
連日気温40度のニュース、この山間地も30度超えて
ビックリ。突然真夏になったよう…でも…でも…
セミの声がまだ聞こえないですよ。
そして…今年は、源氏ホテルを一匹も見なかった。
毎年家の前を飛んでいたのに…
そういえば、モンシロチョウも…ちょっとだけ。
南天の白い花も虫を待っている。
少しずつの変化は仕方ないけど、
ドカーンと、地球の暴発なんかやめてくださいね。

カッコウの声高らかにひびく朝
マグロ手早く解体さるる



レイ子さん・孝子さんから黄色の花が…♡♡

〒963-1245 郡山市田村町栃山神字千穂128 TEL: 024-975-2415 FAX: 024-975-2466

2022・7・1

遠藤商店

編集: ミサ子 mail:kaikuu-0305@docomo.ne.jp

せ ん ぼ 通信 No.95

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「熱中症」

昔は、夏の炎天下で倒れたりするのを「日射病」と言っただけ…今は「熱中症」ですね。それは、体が熱くなる原因が二つあるから…。

①太陽など外から ②内臓など中から。

人の体は、食べ物をたべたり…運動することで体内から熱が発生。体の中心部は、夏も冬も37度位に保つようになっているので、それ以上になると、汗をかいて体から熱が出ていくように。それができなくなるのが「熱中症」です。

症状(軽度) めまい…気分悪い…立ちくらみ
手足のしびれ…

(中度) 頭痛…吐き気…体のだるさ…
力が入らない…

(重度) 高体温…意識ない…

応急処置 涼しい所へ移動→服を脱がす→
ポカリなど冷たい飲料→氷水で
体を冷やす→病院へ

暑さに慣れない7月～8月が多いそうなので、15歳未満の子供さん、65歳以上の方は、特に注意…だそうです。

外はもちろん…家の中でも自分の体にやさしく…涼しいように動いて下さい。

退職後に、楽しそうに野菜を作り、直売所にも出している友人が、「もう…草に負けそう…」と。

本当に、抜いても…刈っても、この夏草の勢いはすごい…。

でも、農家の皆さんの除草の仕上げは、さすがプロの「技」です。

畑や田んぼはもちろん…おうちのまわりも、きれいに刈り揃えられていて、とてもすがすがしい…。

お隣の貞治さんは、草刈り機械が重くなったので、手鎌で…。

共同作業の道路沿いの草刈りも、「無理しなくていいよ…」と、言われても、「ちょっとしかできないから…」と、何日も前から協力を…。

まじめな性格は、鎌の草かり音もシヤツシヤツシヤツ…とやさしい…。

「夏草を刈り新しき風の道」
(作・閑田梅月さん)

学校から、タブレット端末機配布…
なので…夏休みも家でタブレット…。

宿題はやってるの？

「うん…後はお料理なの…ゆで野菜とか…」

だったら、レシピを見ながら作ってみれば…。

ピーマンの肉詰め…トマト・玉ねぎ・ピーマンのサラダ…

モヤシのゴマ・マヨあえ…なかなかの見栄え…。

タブレットで写真取った後、画面を指でクルクル…

何してるの？

「先生に、送信しなくちゃならないの…」

そっか…新しい夏休みの風景だ…。

近くにお友達もいなく、思いっきり遊べないけど、

ミサイルが飛んでこない日々感謝…。

核兵器もすべての兵器も…捨ててほしい。



耕伸さん…サタさんから…☺☺

〒963-1245 郡山市田村町柝山神字千穂128 TEL: 024-975-2415 FAX: 024-975-2466

2022・8・1

遠藤商店

編集: ミサ子 mail:kaikuu-0305@docomo.ne.jp

せ ん ぼ 通信 No.96

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「廃食油」

SDGs…持続可能な開発目標…最近よく聞くけど、なんだか難しそう…私には関係なさそうって思っていました、それでもなかったです。

17ある目標の7番…「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」

天ぷらなど揚げ物の油…飲食店や家庭から出る油は回収されやすく、調理後の再利用なので「再生可能エネルギー」とされています。

全国の食品工場や飲食店からは、年40万トン、家庭からは、10万トン回収されています。

やはり…捨てるのはもったいない…ですね。

冷めた油をペットボトルに入れるだけです。

回収された油は、

国内…飼料 塗料 燃料 石けん等に、
国外…持続可能な航空燃料の原料等に、
再生されています。

田村町商工会女性部は、20年以上前から、廃食油(天ぷら油)の回収をやっています。

当店・遠藤商店に持ってきてください。又は

田村町商工会(守山) 955-2507…に。

ご協力…お願いいたします。

「ツバメの話だけど…5羽のうち4羽巣立っても1羽残っていて、数日後、巣の下に落ちてて、戻してもまた落ちて…よく見たら片方の羽がなかったの。家内が、市・県・国に電話しても、ケガした鳥でないから保護できない…って。手の届くカゴに入れて、トンボあげたら食べて、親もエサ運んでいたけど、数日後トンボ1匹食べたあと目を閉じちゃって…。水を飲みたいように感じて、水をたらしてあげたらこの手の中でそのまま…。最後に巣に戻してあげたら、親がきて聞いたことない鳴き声…別れにきたのかと…。Mさんのお話を聞きながら、絵本「幸福の王子」が浮かんできました。そして、仲間と一緒に、南の国へ飛び立てなかったツバメを…Mさんご夫婦の小さな命への、慈しみのぬくもりをも…。

立秋ごろから…コオロギが…

真夜中・2時ごろ、この通信を書いています。

落ち着き、集中できそうな気がして…。

冬の夜は、万物が眠っているように無音…です。

春の夜は、トラツグミとフクロウ…5月はカエルに

6月にホトギス…7月はヒグラシ…そして、今は

コオロギの合唱…夜の山のど真ん中…です。

めぐる季節に合わせて、生きる生きもの達も、

「あつさ…さむさも…ひがんで…」って、

ささやき合っているのでしょうか…？。

暑さで疲れた体を、くれぐれもお大事に。

秋のおいしいね～を楽しみながら…。

秋初月(あきはつき)厚手に変わるくつ下も



湖南町・布引高原…ヒマワリと風力発電
写真・繭子

〒963-1245 郡山市田村町柝山神字千穂128 TEL: 024-975-2415 FAX: 024-975-2466

2022・9・1

遠藤商店

編集: ミサ子 mail:kaikuu-0305@docomo.ne.jp